

新たな知立駅の これからを考えよう



振り返り通信

7月24日月

14時～16時[開場:13時30分]

場所 知立市商工会館2階大ホール
[知立市鳥居1丁目15番地1]

定員 80名 参加費 無料

知立駅周辺は大規模なインフラ整備により、まちが大きく生まれ変わりつつあります。新しい知立駅とその周辺地区をどんな街にしていきたいか、まちのあり方を定め、アクションに繋げるためのまちづくりの議論を進めています。7月24日(月)に開催されたキックオフセミナーでは市民や企業、行政など約50名の方が集まり意見を交わしました。

1部

講演

まちびらきは広場から！

山下 裕子 氏

全国まちなか広場研究会理事、NPO 法人 GP ネットワーク理事

富山市のグランドプラザをはじめとした全国各地のまちづくりの実践より、広場がまちへもたらす効果や、人と人を繋ぐ空間の役割等についてご講演いただきました。グランドプラザの広場活用の様子は見ているだけでワクワクするものばかりで、これからの知立駅周辺まちづくりへのエールとなりました。

知立駅周辺エリアが「ホーム」が立ち上がりました！

① ゼンヤをつくらう

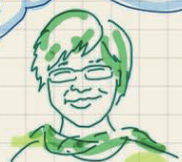
・どんな暮らし？
・どんなまち？

② 実行する組織づくり

③ 社会実験

全員が所有者
あそびに行けば、何かある！

グレート！



広場に「知立」があるって大切！

✓ 広場の日常、ライフスタイル

✓ 役割 + 居場所 → 都市性

✓ 滞在時間長く → 回遊性
→ 買物意欲が上がる
滞在時間が長ければ消費額UP

✓ 身体性と伴うメディアをこの広場
地域室と棚卸す

人が人と繋がって
今日のアイデアのふりかえりが始まる！

マーケット

+

まちづくり

✓ や、こいよ！の感じ

→ グレーには、楽しさと安全が大事
→ Noは言わない空間の可能性を
ひく

→ “やみくも”はいつか若い人から

✓ しみず 空間 → 水道を隠す
→ テーブル、イス、ひかげ

山下さん への ご質問

Q 人の集まる場所に必要なハード面の優先順位は？

A 屋根は必要ですね。大掛かりなものでもなくても軒先や木陰など、人の居場所となることが大事です。

Q 新しい挑戦や取組を前向きに応援する雰囲気づくりで重要なことはありますか？

A 仲間づくりは場づくりにも有効です。何かやるには仲間づくりをやる人を応援しましょう。

…など、たくさんさんの質問を皆さんからいただき、全ての質問に答えていただきました！

2 部 ディスカッション

関心のあるテーマを通じて 知立駅のこれからを想像しよう！

ファシリテーター | 名畑 恵 NPO まちの縁側育くみ隊

山下さんのご講演を受けて、印象に残ったことやこれからの知立駅周辺のまちづくりに活かそうな事等について、班ごとに分かれて参加者の皆さん同士で意見交換を行いました。以下に、その一部をご紹介します。

はじまりをつくろう！

- ▶ 知立駅の現状を踏まえると可能性しか無いと感じました。賑わい要素が何も無い状態を0→1にする、関わっていきたいと感じました
- ▶ 作業が媒介するとコミュニケーションがとりやすいという点が印象的でした
- ▶ 全国的に「エキナカにピアノを設置し、誰でも自由に使える」というのが流行り、私もその場を訪れましたが、自然と演奏者や聴衆と話が弾んだ事を思い出しました。あれも1つの空間作りですね

人が人を呼ぶ広場

- ▶ 多様な人の居場所を提供したい
- ▶ 様々な人が自分を表現出来るスペースに！
- ▶ 「常に広場が使われている」ことが、認知度の高さやワクワク感を備えている場所なのだと思います。地域の皆さんとワクワクするような取組をぜひ行ってみたい！
- ▶ 「何かやるには仲間づくり、挑戦する人を応援しよう」という言葉がとても素敵でした
- ▶ 「人が人を呼ぶ」ははじめの一步(人がいる状態)が難しそう…！
- ▶ 広場のデザインの重要性を感じました

広場＝可能性

- ▶ 広場という空間が人を惹きつけ、賑わいを生み出すんだなと感じました
- ▶ 建物も多く、人が集中している現代だからこそ広場により多くの意味があるのかなと感じました
- ▶ 空間の大切さ、創造を自由に表現することで、人として大切なことが継続できると感じました。広場に対する考え方が学べました

居心地のよさ

- ▶ ぼーっとしていても、居心地の良い空間が欲しいと思いました。それが水辺か？芝か？賑わいか？人それぞれなのかもしれないと思いました
- ▶ 駅は無目的に行く場というフレーズが印象的でした。回遊性や滞在時間の長さが課題というところにも共感しました

みる・みられる・眺める

- ▶ 眺めたくなるものをつくる(生み出す)、この段階から知立に関わる人が参画できることは素晴らしい
- ▶ 眺めることで留まる！
- ▶ 写真映え(インスタ映え)も重要ではないか…

回遊を生もう！

- ▶ まちなか広場は地域内の経済循環を促進！
- ▶ 広場の滞在時間を長くする→経済効果が生まれるという話が印象的でした
- ▶ 気軽に入れる飲食店(カフェ等)があると滞留人口が増えそう
- ▶ 誰かが何かをしている街、通過ではなく目的となるように

ルール→アイデア！！グレーはグレート！

- ▶ 「できない」で終わらずに「できるためには？」を考えることが大事！
- ▶ できる事・できない事の間のグレーを模索し、何でも「できる」場をつくるのが活動と呼び込む
- ▶ 細かいルールを定めるよりも自主性を重んじた方がよりクリエイティブなアイデアが生まれる



ディスカッションの様子

1

各自付せんに
印象や感想を記入し、
班ごとに意見を共有します



2

意見が書かれた
付せんはパネルに貼り
付けて可視化します



3

皆さんからの意見について
山下さんからコメントをいただきました



アンケートより

1. 講演への感想

まちなか広場が人を集め、多様な活動を生み出すことがよく理解できました。
質問1つ1つに講師の先生が回答して下さったのが良かったです。
知立駅周辺の開発ステップやまたそれに対する実験をしている事を知れてよかったです。
また今後のまちづくりに私たちの意見を反映出来る事に好感をもてました。

2. ディスカッションへの感想

グループの方の話を直接聞けてよかったです。様々な立場の人が発言がされ、それをまとめて一つのものを作り出すこと、それがまちづくりの一步であると感じました。
班でのディスカッションが深掘りできるように、テーマの設定や時間管理があるとよいと思いました。

知立駅周辺まちづくりキックオフセミナー振り返り通信 発行日：2023年9月1日

発行：知立市市民 経済課 商工観光係 ☎ 0566-95-0125 (直通) ✉ keizai@city.chiryu.lg.jp
協力：大日本ダイヤコンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊